

WINDOW TREATMENT PLANNER

News Letter

一般社団法人 日本インテリア協会 窓装飾プランナー委員会

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-17 朝川ビル2F

tel:03-3433-4521 fax:03-3433-7860 e-mail: wt-plan@nif.or.jp

<http://www.nif.or.jp>

窓装飾プランナー事務局 発行

Facebook <https://www.facebook.com/windowtp/>

Twitter https://twitter.com/win_tre_planner

Line <https://lin.ee/HI93W2c>

16
2022.APR

特別企画

窓装飾プランナーオンライン対談第4弾

カーテンメーカー女性社員から 受験者へのメッセージ



株式会社サンゲツ
大阪ショールーム

設楽 善子さん / 2008年入社



株式会社スミノエ
東日本商環境開発部

日黒 成美さん / 2020年入社



東リ株式会社
特販営業部量販グループ

持谷 亜希子さん / 2009年入社



リリカラ株式会社
東京ショールーム

真島 沙紀さん / 2019年入社

今回の窓装飾プランナー対談では、昨年の第8回試験に合格された、NIF正会員企業勤務の皆様、堅い話を抜きにした女子会のような雰囲気、今年受験される方へ参考になればと思い、それぞれの体験談をお話いただきました。



——まず窓装飾プランナー資格試験を受験された動機、またどんな受験対策をされたかについて伺います。サンゲツの設楽さんからお願いします。

設楽 普段は、梅田の大阪ショールームに勤務して、新製品の紹介や壁紙・カーテン等の選び方に関するセミナーの開催、来館者の接客や問い合わせへの対応などの仕事をしています。実は窓装飾プランナー資格が創設された時、私もテキストBOOKを買って、すぐ受験するつもりでしたが、ちょうど産休・育休と重なって一時見送っていました。すでにスタッフ全員が合格しており、気づいたら資格がないのは私だけで、今回は生活が落ち着いたタイミングで、慌て

て受験しました。

ちなみに、テキストBOOKは初版の古い内容でしたので、改定版の情報をホームページでチェックして受験に臨みました。——リリカラの真島さんはいかがですか？

真島 新宿のショールームでお客様への接客をしております。受験の動機は、いろいろな問い合わせについて、他の部署に聞かず、自分で答えられるようになりたいと考えたことです。仕事に活かせる資格ですので、社内でも皆で積極的にとりましようという流れがありました。

——東りの持谷さんはいかがですか？

持谷 量販営業部で、ホームセンターなど大型店向けの仕事を担当しています。窓回り商材に関する業務は多くないですが、当社では窓装飾プランナー資格に関して入社年次によって受験が奨励されていて、去年は私たちと若手の年代が受験対象でした。無事合格できてよかったです。

——スミノエの日黒さんはいかがですか？

日黒 開発部東日本商環境開発部に所属して設計事務所への営業を担当しております。受験にあたっては、有資格者の上司から勉強の一環として薦められていたことと、会社の方針で、資格取得を奨励されていたことです。試験対策については、成講座で傾向と対策を学び、あとは在宅勤務の合間などを使って過去の問題を使って勉強したり、テキストをひたすら読んだりし

ました。

——今回の一次試験は過去最高に難しかったと考えていますが、設楽さんどうでしたか？

設楽 難しかったですね。長年カーテンに関わる仕事をしていますから、勉強しなくてもある程度はわかるかなと考えていたのですが、試験ではヤマが外れて、勉強した以外の部分が出題されて、難しかったと思います。

真島 私はマークシートの時間配分が厳しくて、見直しができませんでした。筆記の内容も難しくして自信がなかったため、合格と聞いた時は嬉しかったです。

持谷 私はマークシートのヤマが当たって、いけるかと思ったのですが、筆記は時間が足りなかったです。特に最後の問題（傾斜台形窓の図を描け）はわからなくて、「ええ、なにこの窓？」ってなりました（笑）。

真島 そうそう、傾斜台形窓の問題は私も苦労しました。

——画期的な問題だと思ったのですが、反省しています（汗）

設楽 ほかに、記述式のクレーム対応に関する問題で、項目が細かく分かれていたため、パッチリそこに合わせないと、点がどれだけもらえるかわからなくて、難しかったです。

日黒 選択肢に正解が含まれているマークシート問題はともかく、記述問題については、やはりクレーム対応の順番とか傾斜台形窓とか、想定外の出題があったので、窓の提案と要尺計算のところ以外、私は自信がなかったですね。

(2面につづく)

知識が得られるのは楽しいこと

——皆さん要尺計算はいかがでした？

持谷 実は時間配分を全然考えてなくて、「あと5分です」と言われて、焦ってよくわからないスピードで書きました。あの問題は手順も書かなければいけなかったもので、ああ終わったと（笑）。

真島 以前、カーテン販売店に勤めていたことがあり、要尺計算してお見積もりを出していましたので大丈夫でした。

設楽 私も新入社員の時に会社で叩き込まれていましたので、大丈夫でした。普段、要尺計算はやっていませんが、研修で教える立場になりましたので、そのたびに復習していました。

——合格した時の感想はいかがでしたか？

真島 本当に驚きました。電車の中で、ケータイで可否を確認しましたが、「やった」って声をあげそうになるぐらい嬉しかったです。

設楽 あとがない状況でしたので、ホッとしましたね。会社のパソコンで可否を見ましたので、その場でみんなに言うてお祝いしてもらって嬉しかったです。

持谷 私は自分が絶対落ちたと思っていましたので、パソコンを五度見ぐらいました。何かの間違いじゃないかと（笑）。

目黒 どれくらい点数が取れていたら合格なのかわかりません

——今回の受験を通じて、どんなことを感じましたか？

持谷 いまの部署だとすぐに役立つことはないかもしれませんが、クレーム対応ぐらいかもしれませんが、今までより説得力ある説明ができるかもしれませんね。私も名刺に入れなきゃいけませんね。

真島 文系の学生時代からインテリア業界に憧れて、IC、福祉住環境コーディネーター、色彩検定と、資格を取ってきました。勉強しても時間が経つと忘れてしまいますが、似たような資格の勉強をすると思い出すことができます。この先、自分のキャリア考えた時に自信を持てると思います。

設楽 産休・育休で仕事にランクがありましたので、職場復帰してみると変わっていることが多くて、時の流れの早さを感じます。やはり資格を取って終わりではなく、オンラインセミナーなどを積極的に受講して、どんどん情報をアップデートしていこうと考えています。

真島 試験という目標があるのはありがたいです。勉強するモチベーションが上がります。自分を追い込める目標になります。ゴールがあるのはいいことですね。

持谷 社会人になって以来、勉強するのは久しぶり過ぎて、やっぱり目標持って勉強することは必要だなと。あとテキストの内容を見て、これはあくまで基礎、下地だなと思いました。インテリアのトレンドはどんどん変わり、住宅も10年前といまでは違っていたりします。養成講座の時に、「資格とセンスは違う」と聞きましたが、まさにその通りで、ウインドートリートメント提案のスキルを、もっと自分なりに磨いていかないといいけませんね。資格は取って終わりじゃないと感じる資格試験でした。

——最後に今年受験される皆さんへ、応援メッセージを是非お願いします。

設楽 試験勉強は大変ですが、勉強するだけ知識も得られるのは楽しみでもあると思います。ぜひ楽しみながら頑張っていたいただければと思います。

真島 重複しますが、新しい知識を取り入れるということは、やはり楽しい側面もあると思いますので、是非頑張ってください。

持谷 応援メッセージなんておこがましいんですけど、やはり知識を得ることはムダではありませんし、仕事に活かされればお客様の信頼にも繋がります。是非

でしたし、先輩たちからも難しいことは聞いていたので今回は厳しいかなと思っていましたが、合格通知をいただいてびっくりしています。

——窓装飾プランナーの資格を皆さん今後どうお仕事に活かしていけるか教えてください。

真島 日々の接客やプロユーザーさんからの問い合わせがありますので、自社商品の知識だけでなく、ウインドートリートメント全般のことが答えられるように活かしていきたいですね。

持谷 正直いまの部署ではカーテンを取り扱う機会がありませんので、いままでも何か活かせるかと言うと難しいかなと思っ

ました。自社の商品でも製作意図とわかるようになったので、いまの部署でも積極的にカーテンをお客様に紹介していこうかなと思っています。この先別の部署に配属された際にも活用できるようにしていきたいです。

設楽 名刺に窓装飾プランナーという肩書きがあるだけで、信頼を得られるかなというのが大きいですね。

それから私は新卒でサンゲツに入って外の世界を知りませんでしたが、受験を通じてウインドートリートメント業界という違う視点を知ることができたので、今回勉強したことは、身になると思います。

目黒 今回の試験が勉強するきっかけになりましたが、実際の経験としてはまだまだなので、勉強した内容を実践して活かしていけたらなと思っています。



オンライン対談の模様

非頑張って欲しいですね。

目黒 資格を取ったから仕事上どうこうということはないと思いますが、今後カーテンを提案する時には、いままでよりも自信を持って提案できるかなと思っています。応援メッセージということではないのですが、

受験を通じて勉強できるし、合格したら自信にもつながると思います。取ったからにはちゃんとしなければという、自分への戒めではないですけど、自分のためにはなると思いますので、頑張ってください。

——ありがとうございました。

スキルアップセミナー

『最高のテレワーク空間』に学ぶ、「窓装飾から予防のヘルスケアアプローチ」開催



窓装飾プランナー事務局は、さる3月15日、尾田恵さん（柳葉インテリアスタイリング）を講師に迎えて、Zoomウェビナーによるセミナー『最高のテレワーク空間』に学ぶ「窓装飾から予防ヘルスケアへのアプローチ」を開催し

ました。

セミナーでは、医療とインテリアの健康学『ACTIVE CARE®』の視点からこれからの窓装飾提案、テレワーク時代に求められるインテリア提案が、数々の事例とともに語られました。

学生にとっての窓装飾プランナーの価値とは

インテリアが好き、インテリアの世界で仕事がしたい、そんな思いから窓装飾プランナー資格試験にチャレンジする学生が増えてきました。今回は昨年の試験で見事に合格した2人の学生にお話を伺いました。

林 愛さん

関西学院大学
文学部英米文学英語専修



大学では英米文学を専攻し、特にシェイクスピアに傾倒したという林愛さん(卒論のテーマはシェイクスピア作品に登場する悪役についてだったそう)。4年生のときに窓装飾プランナー資格を取得し、この春から大阪のインテリア専門店働きはじめます。

—インテリアに興味を持ったのはいつからですか？

母がインテリア好きで、小さい頃から母に連れられてインテリアショップや家具店によく行っていました。インテリアをすごく身近に感じて育ってきました。

—インテリアのお仕事を目標にしたきっかけは？

20歳のときに家族で引越しをして、まったく知らない土地で知っている人もいないということでも心細い思いをしました。でも家族で新居のカーテンを選びに行き、自分でこだわったカーテンを選んで部屋に掛けたときに、気持ちが一気に変わったんですね。そのときに、仕事としてのインテリアに興味が湧いてきました。

—窓装飾プランナーのことはどこで知りましたか？

実はこのとき購入したカーテンショップに就職することが決まりまして、会社のことを調べると窓装飾プランナーを持っている人が多くて、それなら自分もチャレンジしようと決意しました。

—試験の感想は？

試験日まであまり時間がなく、直前2週間は大学受験のようなモードで気合をいれて勉強しました。マークシート式はある程度自信がりましたが、記述式は実務経験がないため苦労しました。事前にイメージトレーニングをしていったのですが、それが正しいのか分からず不安でした。また要尺計算はマークシート式の時にうまく回答できなかったため、記述式までのインターバルで勉強をし直して、なんとか対応できました。合格してホッとしています。就職先にも報告し喜んでいただきました。

—就職してからの目標をお聞かせください。

販売、企画、施工などいろいろな経験をしながら、お客様の視点で提案のできる販売員になりたいと思っています。

—ありがとうございました。

佐藤美月さん

神戸松蔭女子学院大学
人間科学部 ファッション・ハウジング学科



現在、大学でインテリアの空間デザインを学んでいる佐藤美月さん。ウィリアムモリスの壁紙が大好きで、授業の課題でもよくデザインに取り入れるそう。将来インテリアの仕事に就くことを目指し、3年生のときに窓装飾プランナー資格にチャレンジしました。

—インテリアに興味を持ったきっかけは？

大学でインテリアを学んでいくうちに、ウィリアムモリスなど輸入壁紙のことを知り、興味を持つようになりました。

—窓装飾プランナーのことはどこで知りましたか？

ゼミで自分が目指したい仕事に関連したインテリアの資格を調べる、という課題がありました。輸入壁紙関連の資格を探していた中で窓装飾プランナーに行き着きました。カーテンにもウィリアムモリスがありますし、将来の仕事に活かせると思いました。

—どのような試験勉強をしましたか？

テキストBOOKを読み込みましたが、とにかく知らない単語ばかりで、スマホを片手にひた

すら調べてノートに書く、どうしても分からないことは先生に聞くということの繰り返しでした。また以前受験した方の体験談を綴ったブログを見て、時間が足りなくなるとか要尺計算が重要とか、そうした情報を集めて試験に臨みました。

—試験の感想は？

覚悟はしていましたが、やっぱり問題数が多く時間が足りませんでした。問題も難しかったです。でも要尺計算は、試験前に自分なりにイラストを書いて理解を深めていましたから、ある程度自信はありました。それでも落ちたと思い試験会場からの帰りの電車は、来年のために問題を思い返してノートに書き出して復習をしていました。合格できたとわかったときは本当に嬉しかったです。

—将来の目標をお聞かせください。

この資格がきっかけで、今は神戸のカーテンショップにインターンシップに行っています。できればそのまま就職して、この世界で頑張っていきたいと思っています。

—ありがとうございました。



2022年度 第9回窓装飾プランナー資格試験 9月7日(水)全国11会場で開催

—受験申込期間は6月1日～7月25日—

「2022年度 第9回窓装飾プランナー資格試験」は、9月7日(水)、札幌・仙台・さいたま・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・沖縄の全国11会場で開催されます。受験申込期間は6月1日(水)～7月25日(月)。受験料は1万4300円(税込)です。詳細は4月10日発行の「受験

申込ガイド」をご覧ください。同ガイドはNIF会員企業、および窓装飾プランナー事務局で入手できます。

また今年度より公式テキスト「窓装飾プランナーBOOK」(税込4620円)が大幅に改訂。第4版がNIFホームページで販売中です。



窓装飾プランナーBOOK(第4版)

窓装飾プランナー探訪③0

販売・採寸・施工をそれぞれプロが対応 スタッフの専門性を訴求し差別化を図る

花房玲奈さん カーテン・ミュゼ(京都府京都市)

京都市のカーテン専門店『カーテン・ミュゼ』でストアマネージャーを務めています。当店は2006年にオープンし、6年前からは、より京都市内の中心地に近い中京区壬生に移転し現在に至っています。お店の形態は、オープン当初から変わらず、オーダーカーテンに特化しエンドユーザーの方々に直接ご提案していくこと

にこだわっています。店内には約1800点の吊サンプルを展開、京都市内でも最大級だと自負しています。

当店の強みは、そうした品揃えも1つですが、やはり専門店ならではの提案力、技術力だと思っています。一般的には1人の担当者が提案から採寸、施工まで担当するケースが多いと思いますが、当店では販売・採寸・施工の担当を別々にし、それぞれがプロの立場で質の高いサービスを提供しています。そうすることで大型店との差別化が実現できています。

現在、販売担当5名、採寸担当1名、施工担当1名(+研修中1名)の計8名で運営しています。そのうち私含めて販売担当3名が窓装

飾プランナーで、採寸担当も窓装飾プランナーの資格者です。職種に限らずすべてのスタッフの資格取得を進めています。

私自身は第1回目の資格試験で取得しました。当時はまだ新人で、糸の種類や織り方の違いなど、接客の際にそこまで深く考えていませんでしたが、勉強を通じてさまざまな専門知識を得ることができ、大きく成長できたと思います。高級ゾーンのお客様には、専門知識で対応すると信頼感が高まりますので、今でもそのときの勉強が役立っています。

今後は大型店との差別化がより重要になりますから、スタッフの

平野広大さん

2020年入社ですが、入社前から研修の一環として窓装飾プランナーを取得しました。知識ゼロからのスタートでしたから勉強はとても苦労しましたが、入社後は、事前に基本的な知識を得ることが



花房さん(左)と平野さん(右)

専門性を表に打ち出す必要があります。現在はチラシやホームページに、「窓装飾プランナーのいるお店」と掲載し積極的にPRしているところですよ。

できましたので、すんなり業務に入ることができました。入社前から勉強できて本当に良かったです。

今後は自身のスキルを高めていくとともに、窓装飾プランナーをお店の価値向上に活用していきたいと考えています。

窓装飾プランナー探訪③1

販売と施工のチームワークが大切 「窓からはじまるリフォーム」を強化

松井朋之さん/茂原明日香さん アールプラン(群馬県高崎市)

松井 内装業メインだった当社が本格的なカーテンショップを出店したのは平成2年のことです。それ以来、エンドユーザーや住宅メーカー、セレモニーホール他の法人ユーザーなど地域のあらゆる需要に対応してきました。

茂原 現在、店長として接客・販売を担当しています。当社は顧客の掛け替え需要も多く、地域のお客様からの強い信頼を感じていま

す。また住宅メーカーのIC様へ、窓装飾のプロとしてご提案やアドバイスもさせて頂いております。

松井 当社の強みの1つが、プランニングから施工まで一貫して自社で行う点だと考えています。

施工については、大型で特殊な物件も含めて私が責任をもって対応しています。お客様にご満足頂くためには、プランニングと施工の連携がとても重要になります。

茂原 例えばセレモニーホールの場合、プランニングしたデザインが実際に現場に納まるか、施工面からアドバイスをもらって変更する場合があります。住宅も同様です。お客様によって要求度は異なりますので、ご要望を細かく汲み取り、機能性にも見た目にも最高

の仕上がりをご提案できるように、施工スタッフとも緻密にやり取りをしています。そうした施工も含めた提案が、生地だけを紹介する大型店との差別化につながっています。

松井 最近は細かくご指定されるお客様も増えていきますから、販売と施工のチームワークがとても大切になっています。

茂原 当社ではそうした方針の下、提案も施工も高いスキルを求めていますから、窓装飾プランナーはうってつけの資格だと思います。私が取得したのは第2回目の試験でした。当時はまだ新人で、仕事を理解する上でこの資格の勉強がとても役に立ちました。6年以上経った今でもベースはこの資格にあります。

松井 私第2回目に取得しました。仕事としては、窓まわりの施工だけでなくリフォームの営業、現場監理までトータルで対応しているため、建築関連の資格も取得



茂原さん(左)と松井さん(右)

してきました。それでも窓装飾の専門家はセンスが良いというイメージがあるようで、窓装飾をきっかけにリフォームにつながるものが多くあります。今後も「窓からはじまるリフォーム」を増やしていきたいと思っています。

茂原 私も窓装飾プランナーの資格取得をきっかけにICなどの関連資格を取得してきました。今後は窓装飾を切り口に、住空間のご提案もできるようステップアップしたいと思っています。

NIF(一般社団法人日本インテリア協会)とは

一般社団法人日本インテリア協会(NIF)とは、カーテン、カーペット、壁紙、ブラインド等のインテリア製品を取り扱っているインテリアメーカーが集まる業界団体(正会員企業17社、賛助会員53社)です。

